

## がんばれ！あいコープみやぎ！（仙台）

翌5月24日、あいコープみやぎ(旧仙台共同購入会)さんにお見舞に伺いました。

震災から1週間後の3/18常総生協が最初に宮城入りした時に、避難所へのきめ細かい食料物資のお届けは「あいコープみやぎ」さんが地域の拠点として手だてして下さいました。

協同組合の石けん運動のリーダーでもある吉武理事長さん、仙台共同購入会時代からの小野瀬副理事長さん、先日高橋徳治商店さんのヘド口除去もいっしょにやった多々良専務さんと鈴木理事さんも。ちょうど理事会の日で、若い組合員理事さんから先輩の理事さんまで皆で迎えて下さいました。

理念と歴史、そして組合員活動の基盤がしっかりした生協さんで、規模も大きいのですが、理事会や本部・センターの職員さんたちもたいへん暖かい皆さんです。



あいコープみやぎの理事のみなさん



支援金と寄せ書きをお渡ししました。



### 「一人は万人のために、万人は一人のために」

被害者にも加害者にもならない暮らし、資源浪費型社会から脱却  
つつましく暮らす人々の生活が守られる社会の実現を

あいコープみやぎ理事長 吉武洋子

今回の地震津波そして福島原発事故により被害を受けられたすべての皆さまに心よりお見舞申しあげます。

また沿岸部を中心にご家族を亡くされ、あるいは仕事や生産基盤を失われた多くの皆様に、衷心よりお悔やみとお見舞いを申し上げます。

あいコープでも家族や実家を失った職員、危うく津波から逃れた役職員がおりますが、不幸中の幸い、役職員一同、命は無事でした。

今回の災害では、あいコープの地場生産者が大きな被害を受け、また組合員の暮らしにも大きな影響が出ています。何より福島原発の状況は予断を許さず、長期戦の覚悟が必要であり、また今後予想される放射能汚染への対処が緊急です。

被害者にも加害者にもならない暮らし、資源浪費型社会から脱却し、危険な原子力発電反対を

主張し続けてきた、あいコープにとって正に試練の時です。

被災後間もなくから、あいコープは燃料不足に苦しみながらも、在庫や他生協からの支援物資を組合員や被災者の方々にお届けし、大変喜んで頂きました。「一人は万人のために、万人は一人のために」。これほど困難な状況だからこそ、組合員と生産者協力の力でお互いに支え合い、助け合い乗り切ってゆきましょう。

被災された皆様の心と体の健康をお祈りするとともに、一日も早く原発事故が収束に向かうことを切に願います。そして組合員また生産者の暮らしの安全が戻り、一所懸命働き、つつましく暮らす人々の生活が守られる社会の実現をも。

これまでもそしてこれからも、あいコープは食の自給と安全・自然環境保全・地域福祉推進をしつ

## 被災地・避難所への支援物資募集

「物資は足りている」との新聞等の報道とは裏腹に、今だ避難所に取り残されている方の食料(生鮮野菜)や衣類、生活用品は決して足りていない、行政はきめ細かい把握ができていない、とのお話を吉武理事長さんからお聞きました。急ぎ常総生協でとりまとめ、あいコープの手だてで届けたいと思います。不足している物資の中で下記について組合員からのご協力を呼びかけます。袋に入れて頂き供給時に担当までお渡し下さい。

### ①夏用のタオルケット ②子供用の靴(幼稚園～小学生)

(紙おむつ・生理用品は組合員からの支援基金から、また生鮮野菜は有機生産者にも応援を要請します)

【ものづくり 人づくり 地域づくり】

# 6/11(土)は 第38回「総代会」

9:30～11:45 つくば国際会議場 4F会議室

「総代会」は生協の最高議決機関。



一年の運営・事業のまとめと2011年度活動方針が決定されます。

総代さんよろしくお願いたします。

### ◎総代会は、総代になっていなくても、 組合員であれば「傍聴」できます。

傍聴希望の方は、下記申込書のご提出をお願いします。

### ◎総代会終了後、12:00～13:30 大ホール前広場 「被災生産者激励交流会」を開催します。

ぜひ、多くの組合員さんからもお声かけ、よろしくお願いたします。

### ●同時開催～復興支援チャリティー映画会 **ぜひ友人お誘い下さい!**

『フード・インク』(10:30～、16:00～)

『ミツバチの羽音と地球の回転』(13:30～、17:45～)

総代会傍聴・被災生産者激励交流会参加申込書(生協へ 〆切6/10)

総代会を傍聴します。

被災生産者激励交流会に参加します。

コース名 \_\_\_\_\_ 班名 \_\_\_\_\_

氏名 \_\_\_\_\_ (人数) \_\_\_\_\_ tel \_\_\_\_\_

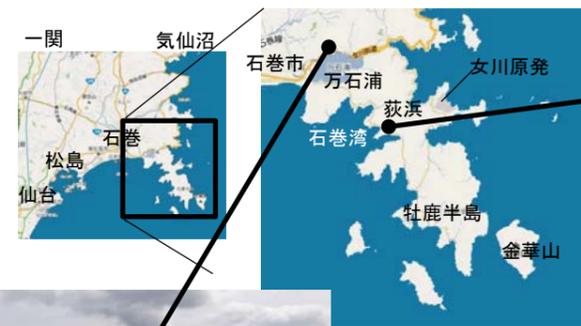
5/24、カキ養殖漁師、宮城県荻浜青年部を訪ねました。  
**「漁師みんな家は流されたけど、9割がたは  
 “また頑張る”って言うてるから、  
 みんな、待っててくれよ！」**



「今年の秋、カキの種付けして  
 2年後、再来年の秋に復活するからなあ！」  
 漁師の渡辺茂さん(左)、まるたか水産の高橋さん(右)  
 津波が襲い中がすっかりさらわれたカキ加工場の前で。



荻浜では漁師とボランティアさんが港に打ち上げられた網や筏、フイを片付けていました(上)。港にはまだ打ち上げられた瓦礫が(下)。奥にカキ加工場が見える。



↑ 荻浜の前に広がる美しい石巻湾に浮かぶ漁船。島は桂島。手前は山がそのまま海につながるリアス式海岸。「森は海の恋人」そのものの景色が災害の地に。「3時きっかりに津波が来るとの予報で、しかも津波が島を乗り越えて来ているとの沖合から無線連絡が入り、船で沖に向かってまっしぐら。ぐう〜と盛り上がってくる海面に乗ったものの、一向に進まない。港に戻って来たら、我が家も屋根だけが残っていた。高台に避難させた車も姿形なく」と。



←「万石浦」  
 (まるたか水産さん工場前より)



← 荻浜青年部のカキを加工・パックしてくれる「まるたか水産」の高橋専務。工場が内海の万石浦にあったことから津波の直接被害は受けなかったが、工場が約1m地盤沈下と浸水。「海面が盛り上がったままのような錯覚」と。消防団なので、震災初日より石巻市街・沿岸から避難されてきた方たちの食料や物資調達に奔走。常総生協からの支援食料もまるたかさんを通して避難所に。カキが育つまで、少しずつ仕事を再開する予定。



地盤沈下1mのまるたか水産さん工場

【5/23~24 福島・宮城の仲間生協をお見舞い】

**がんばれ！あいコープふくしま！（郡山）**

5月23日、生協ネットワーク21の役員会で仲間の生協「あいコープふくしま（郡山）」にお見舞い訪問しました。

放射能汚染ただ中で、組合員さんの安心のくらしも事業も脅かされています。どうか頑張ってください！



ネット21の役員と(左)。あいコープふくしま佐藤さんに支援金と職員からの寄せ書き(右)を手渡してきました。(大石)



**あいコープふくしま佐藤理事長さんより**

生協ネットワーク21役員の方々と、あいコープふくしままでお会いいただき、直々の激励を受け、感謝申し上げます。

常慶会長(東京・自然派くらぶ生協)、大石副会長(常総生協)、神脇副会長(あい生協)、そしてコープ自然派大川理事長(大阪)、青山事務局長(ナチュラルコープヨコハマ)、遠いところありがとうございました。

そのうえ、各生協から支援金も頂き、拠出された組合員一人一人に御礼を申し上げます。ガンバレ福島、そしてあいコープふくしまの声援が聞こえるようです。

こうした支援に応えるためにも、必死のふんばりを決意する次第です。

福島を離れた組合員も3割、生協の事業の回復は厳しく、雇用調整で人件費を削減していますが赤字の額は減少しません。

あいコープふくしまの再生には、原発放射能汚染の問題は避けて通れません。この2ヶ月で積算被曝が福島市で4mSv、郡山市で3mSvに達している。このまま1年、い

や5年通算すると…。内部被曝を考えると福島を離れるのが賢明かと迷う。

しかし、夫の仕事、住宅ローン、子ども達の学校、友だち、両親など考えると、離れたくとも離れられない。「この地で生きていくしかない！」の道を選択するしかない。この話し合いを地区委員会、そして各地区交流で積み上げています。

被曝したセシウムを身体の外に排出することを考える。この討議には時間がかかるし、質が問われます。地元の生産者の話し合いもはじまりました。

常総生協といっしょに取り組んだ母乳の検査や、甲状腺の被曝検査の実施など組合員の不安を払い、信頼から組合への再結集をめざします。

各生協への総代会にもぜひ参加させて頂き、被曝地福島から多くの皆さんに発信したいと考えております。

5月24日 あいコープふくしま理事長 佐藤孝之



**子供に、最大限の安全対策が取れない 悔しさで涙が…。  
 でも、この地で生きていくしかない**



福島地区担当の鶴蒔と申します。

私にとってこの2ヶ月間は何をするにも戸惑い、悩み、不安な日々でした。(中略)

田畑を愛し、作物を育ててきた生産者の皆さんは私以上に悲しい思いでしょう。

私たちが受けた原発の被害はまだ誰も経験したことがなく、目には見えないのです。親として二人の子供に最大限の安全対策をとれないことへの悔しさで涙が止まらない夜もありました。

しかし、悲しんでばかりはいられません。私たちはこの地で生きているのです。私たちが不安でい

ると子どもたちも不安になります。不安なことばかり考えるより、自分が今できる限りの事を精一杯やってみようと心に決めました。

水分補給やミネラル補給、免疫力を上げる食生活、家内外の掃除、洗濯など、できることは本当にささやかな事かもしれませんが、今まで気をつけてきた、農薬、添加物、合成洗剤に放射能が1つ増えただけだと自分に言い聞かせています。

組合員の皆さん、生産者の皆さんと一緒に正確な情報を共有し合い、知恵を出し合っこの危機を乗り越えられたらと思います。

あいコープふくしま機関誌『ひまわり』より